

# 週間市場レポート (2020年7月13日~7月17日)

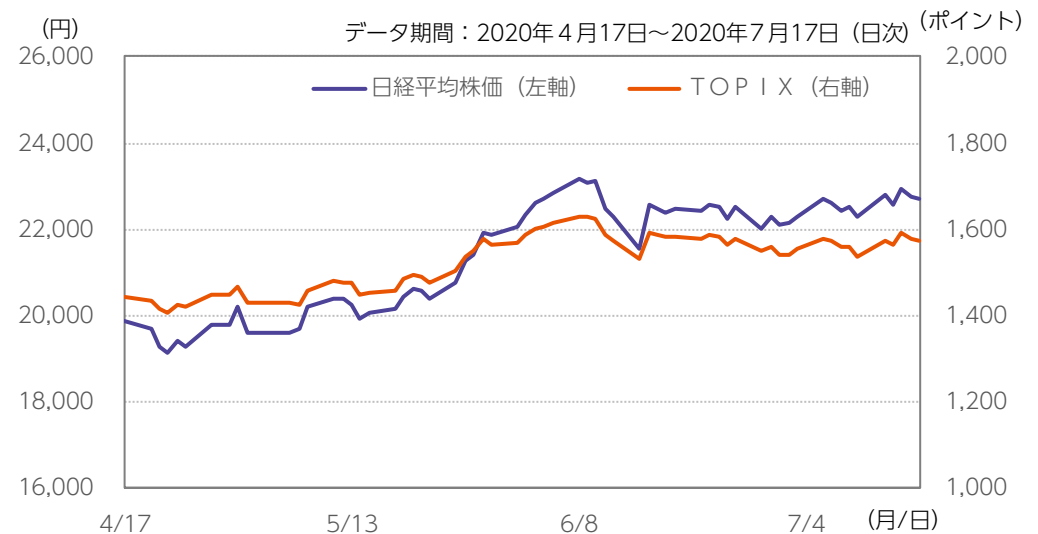
## 1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/7/10	先週末 2020/7/17	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		22,290.81	22,696.42	1.82 ↑
TOPIX (東証株価指数)		1,535.20	1,573.85	2.52 ↑
ダウ工業株30種平均 (ドル)		26,075.30	26,671.95	2.29 ↑
S&P500種指数		3,185.04	3,224.73	1.25 ↑
ユーロ・ストックス50指数		3,296.22	3,365.60	2.10 ↑
S&P/ASX300指数		5,886.07	5,994.25	1.84 ↑
上海総合指数		3,383.32	3,214.13	▲5.00 ↓
MSCI AC アジア (除く日本)※		865.60	851.48	▲1.63 ↓
東証REIT指数		1,664.93	1,662.60	▲0.14 ↓
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		660.07	663.99	0.59 ↑
ASX300 REIT 指数		1,196.40	1,215.60	1.60 ↑
グローバルREIT (除く日本)※		154.51	155.45	0.61 ↑
日本10年国債 (%)		0.03	0.02	▲0.00 ↓
米国10年国債 (%)		0.64	0.63	▲0.02 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲0.47	▲0.45	0.02 ↑
英国10年国債 (%)		0.16	0.16	0.01 ↑
ドル/円		106.93	107.02	0.08 ↑
ユーロ/円		120.86	122.32	1.21 ↑
英ポンド/円		134.97	134.51	▲0.34 ↓
豪ドル/円		74.30	74.88	0.77 ↑
フィラデルフィア半導体指数		2,069.79	2,068.99	▲0.04 ↓
WTI原油先物 (ドル)		40.55	40.59	0.10 ↑
CRB 指数		141.52	140.83	▲0.49 ↓
アレリアンMLP指数		686.50	703.04	2.41 ↑

## 2) 日本の株式・債券市場

### ◀ 株式 ▶

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。新型コロナウイルスの治療薬の開発進展などを背景に、日本株式は景気敏感株を中心に幅広い銘柄が買われ、週央まで高値圏での推移となりました。その後は、東京都の新型コロナウイルス新規感染者数が、連日で最多を更新し、景気の先行き懸念などから投資家のリスク回避姿勢が強まり、売りが優勢となったものの、週間では前週末比で上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※現地通貨ベース \* ▲はマイナスを表します

≪ 債券 ≫

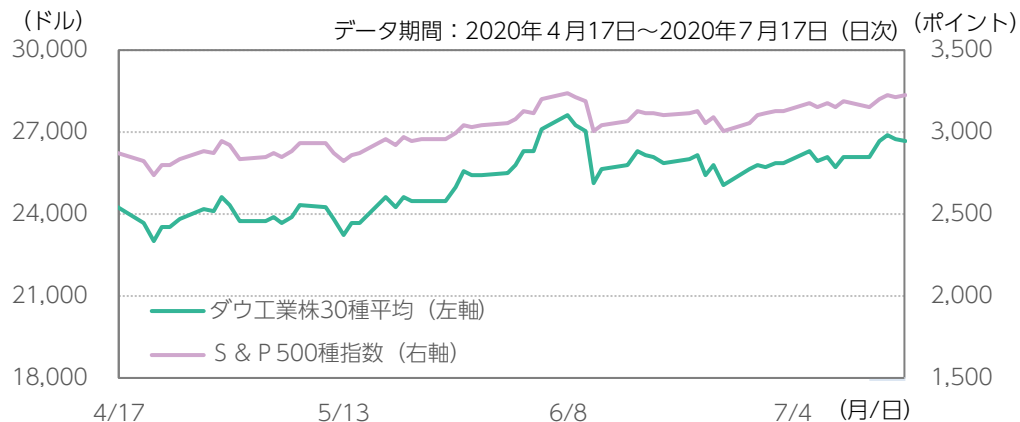
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。新型コロナウイルス治療薬の開発期待から日経平均株価が上昇し、投資家のリスク選好姿勢が強まったことから、相対的に安全資産とされる債券は週央まで売りが優勢となりました（利回りは上昇）。その後は、新型コロナウイルス感染再拡大への懸念などで投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、買いが優勢となり（利回りは低下）、週間では横ばいとなりました。



3) 米国の株式市場

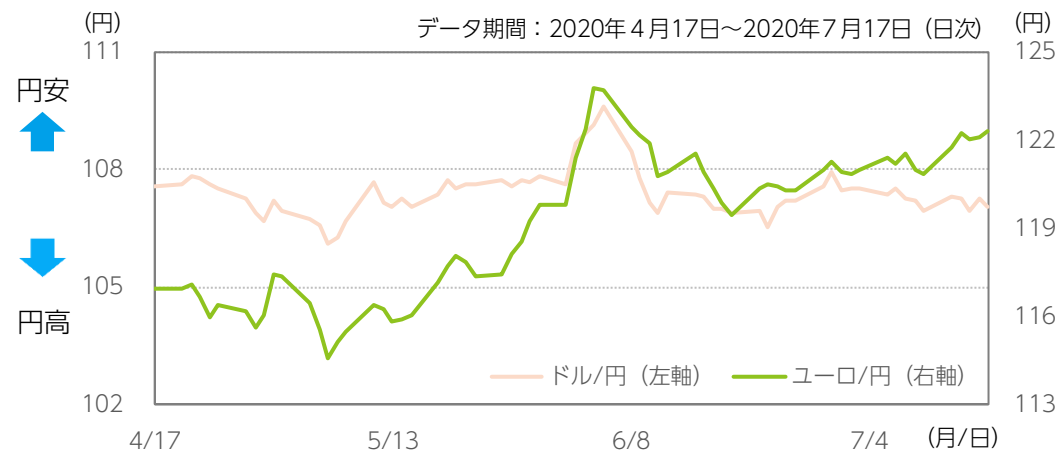
≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は前週末比で上昇となりました。米国製薬会社による新型コロナウイルス治療薬開発の進展などを背景に、米国の経済活動が本格的に再開するとの期待が高まったことなどから、上昇となりました。



4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。新型コロナウイルス感染再拡大への懸念がくすぶるなか、治療薬の開発期待などから、投資家のリスク選好姿勢が強まり相対的に安全資産とされる円は売りがやや優勢となりました。ユーロは、復興基金の設立期待から買われ、円売りユーロ買いが進行しました。



5) 今週の見通しについて

新型コロナウイルス治療薬開発の進展などを背景に、先週の株式市場は日米両市場ともに上昇しました。しかし、米国やブラジル、インドなどを中心に新型コロナウイルスの感染が拡大しています。世界における感染者数は1,400万人を超えました。国内でも、17日（金）には東京都の1日あたり新規感染者数が293人と過去最多を更新しており、引き続き新規感染者数の動向には注意が必要であると考えます。

主要国がロックダウン（都市封鎖）を緩和し、経済活動を再開させているものの、新型コロナウイルスの感染拡大に収束の兆しは見えておらず、感染再拡大による主要国の経済活動の再制限が懸念されます。今週の株式市場は、マイクロソフトやアマゾンなど、本格化する企業決算の内容と世界の新型コロナウイルスの感染者数の動向をにらみながら上下に振れやすい展開となりそうです。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY  
ASSET MANAGEMENT

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>